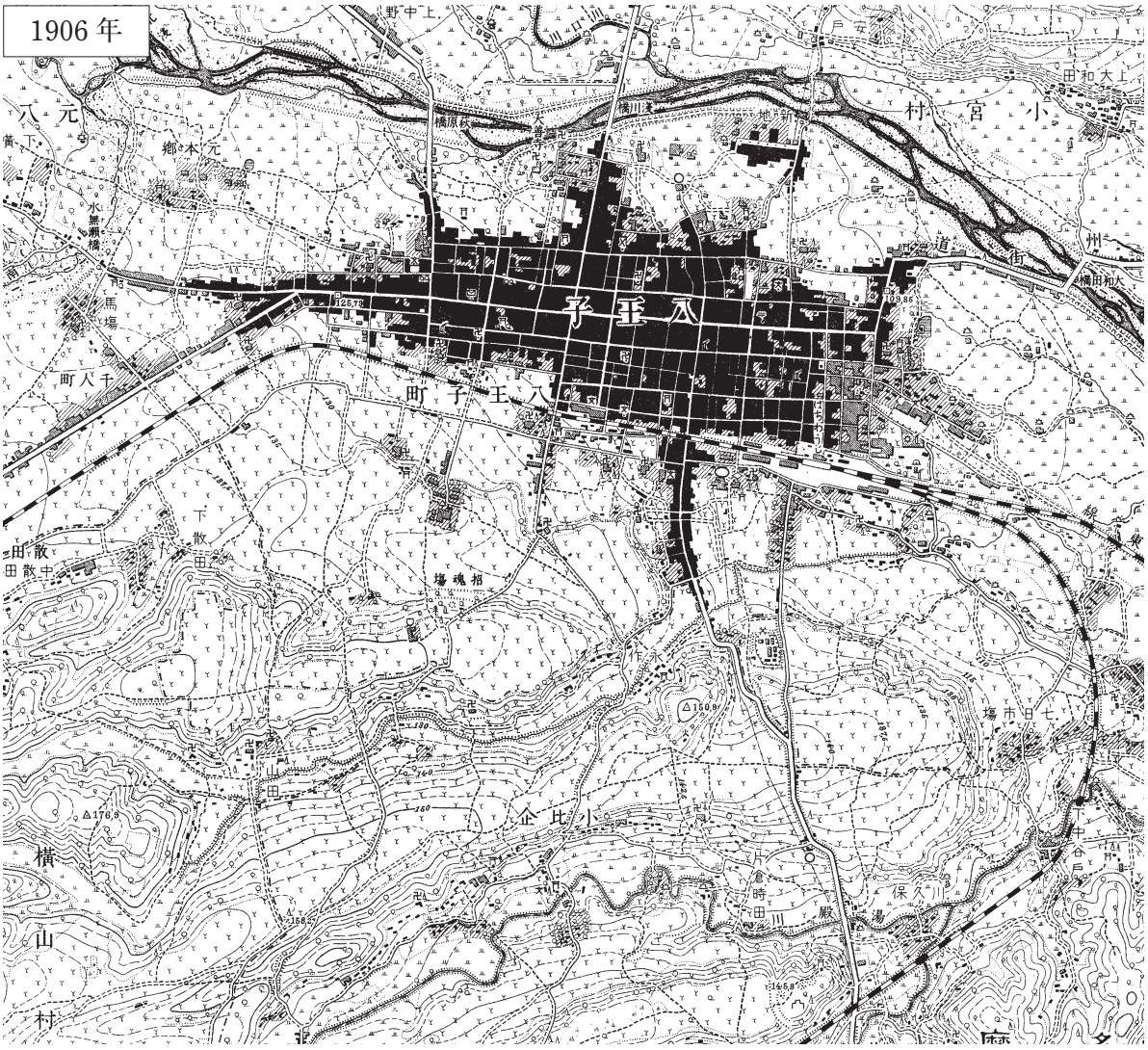
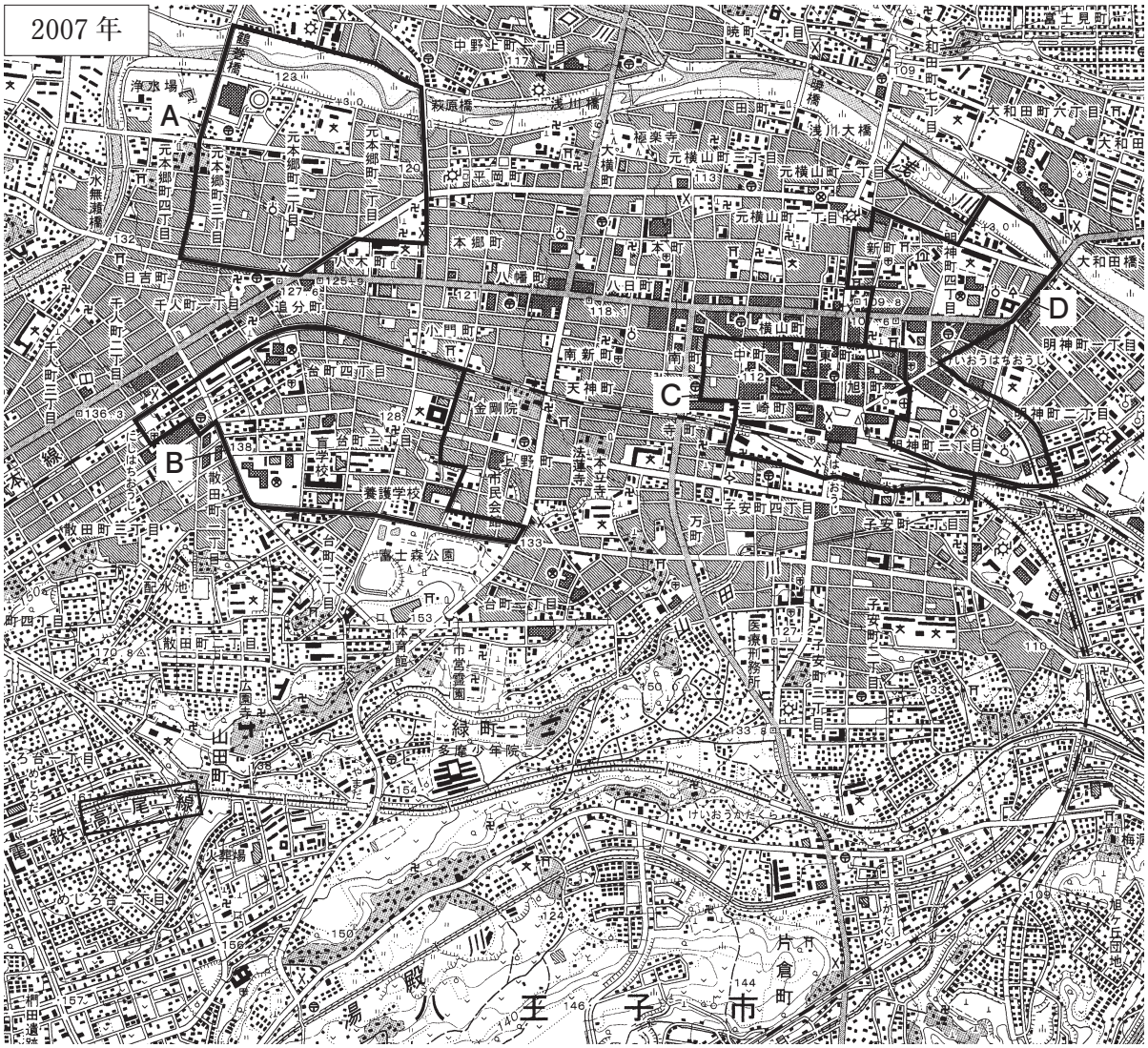
地　理

地　理

第１問　次の図１・２は，それぞれ 1906 年と 2007 年に発行された東京都西部の八王子市付近の地形図である。これらの地形図などを利用して，八王子市の地域調査を行った。これに関する下の問い(**問１～７**)に答えよ。


1906 年
八王子町
八王子町
八王子町



（国土地理院発行２万５千分の１地形図「八王子」，平成 19 年更新，原寸，一部改変）

図　２

問１　図１・２について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

1

① 八王子は城下町として発達した都市であり，市役所は城跡に立地している。

② 八王子の中心市街地は，浅川より標高が 100 mほど高い河岸段丘面に広がる。

③ 図２中にみられる国道の大部分は，バイパスとして新しく建設されたものである。

④ 図２中にみられる高尾線の線路の大部分は，丘陵地帯の上に建設されている。

問２　次の文は，図１と図２を比較して八王子市の産業と土地利用の変遷を述べたものである。（　**あ**　）・（　**い**　）に該当する語句の正しい組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。 2

図１から，かつては（　**あ**　）産業が盛んであったことが読み取れる。第二次世界大戦後は，その産業を支えていた農地は姿を消して住宅地になったが，一部の農地はおもに（　**い**　）に変化して住宅地の合間に残っていることが図２から読み取れる。

	①	②	③	④
あ	絹織物	絹織物	綿織物	綿織物
い	水　田	畑	水　田	畑

問３　八王子市内の産業構造を明らかにするために，町丁目ごとの産業別従業者数を調査してみた。次の表１中の①～④は，図２中のＡ～Ｄのいずれかの地区について，それぞれの地区内の事業所で働く従業者数をおもな産業別に示したものである。Ｄに該当するものを，表１中の①～④のうちから一つ選べ。 3

表　1

	①	②	③	④
製造業	160	15	161	519
卸売業・小売業	1,544	3,299	440	187
宿泊業・飲食サービス業	685	4,993	456	92
教育・学習支援業	212	515	715	51
医療・福祉	1,199	1,038	426	233
公務＊	173	9	0	3,605

＊他に分類されないもの。
単位は人。
統計年次は 2014 年。

（「経済センサス基礎調査（平成 26 年）」により作成）

問４　八王子市の産業の特徴を明らかにするために，人口規模が比較的近い倉敷市，松山市と，工業・商業に関する統計を比較し，次の表２にまとめた。都市名とア～ウとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **4**

表　２

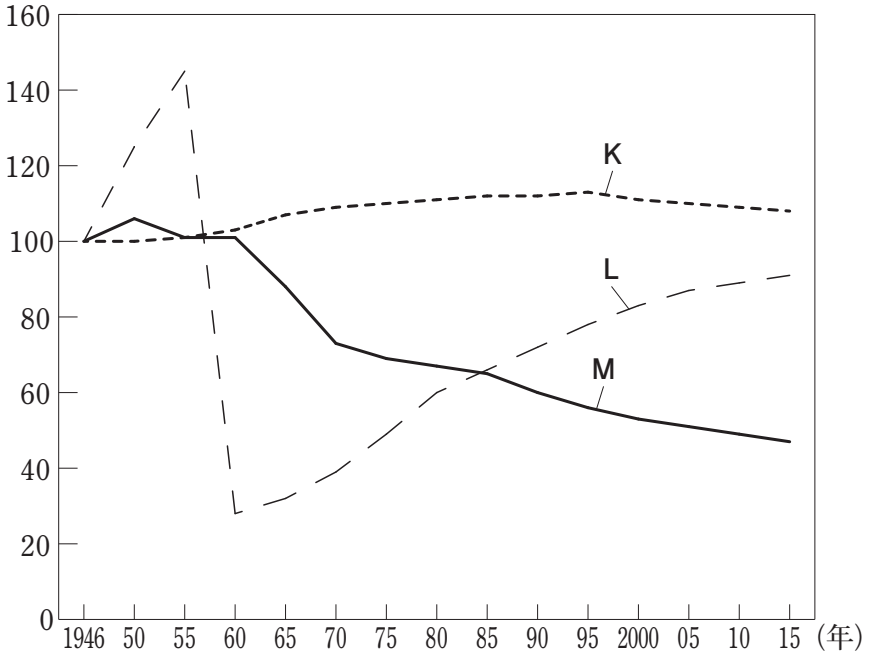
	人口１人当たり 製造品出荷額等（万円）	人口１人当たり 年間商品販売額（万円）
ア	65.7	204.6
イ	962.3	194.9
ウ	78.3	263.8

統計年次は，人口が 2017 年１月１日，製造品出荷額等が 2014 年，年間商品販売額が 2013 年。

（『データでみる県勢 2018 年版』により作成）

	①	②	③	④	⑤	⑥
八王子市	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
倉敷市	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
松山市	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問５　八王子市の歴史と発展を考察するために，第二次世界大戦後の人口の推移に関する統計を調べてみた。次の図３は，１世帯あたり人員，人口密度，性比（女性人口に対する男性人口）の推移について，1946 年の値を 100 として示したものである。これについて述べた下のK～Mの文の正誤の組合せとして正しいものを，あとの①～⑧のうちから一つ選べ。 5



（「統計八王子（平成 30 年版）」により作成）

図　３

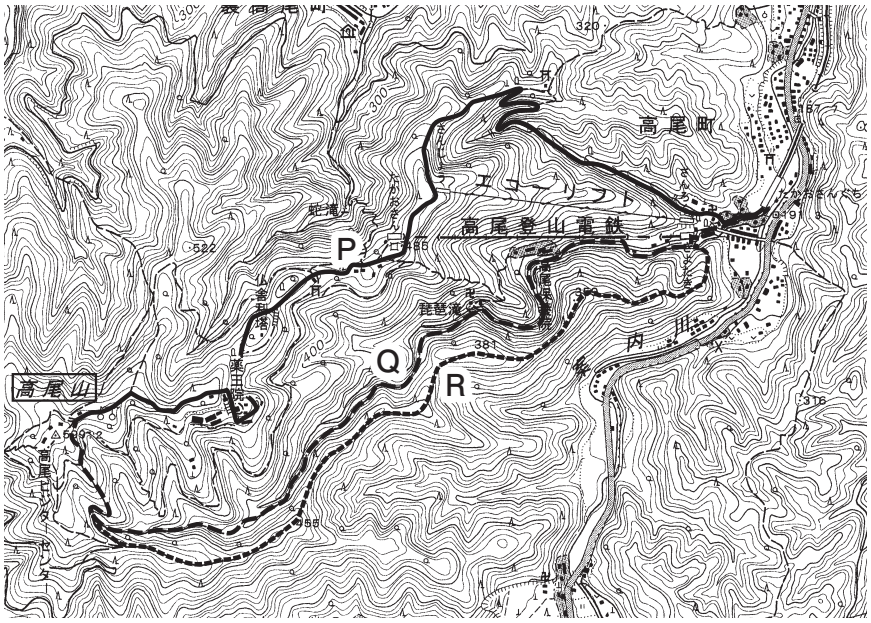
K　性比の推移である。1960 年頃から 1990 年頃にかけて工場や大学が増加したことなどによって，男性の割合が上昇した。

L　人口密度の推移である。1950 年代後半にこの地域を支えていた産業が不況となり低下したが，その後は人口流入が進んでいる。

M　１世帯あたり人員の推移である。核家族や単身世帯の流入が進んだことや３世代世帯の減少によりこの値は低下してきた。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
K	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
L	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
M	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

問６　八王子市にある高尾山には，近年，外国人登山客も多く訪れていることを知り，高尾山の登山ルートについて調べてみた。次の図４中のＰ～Ｒは，高尾山のおもな登山ルートを示したものであり，下の**カ**～**ク**の文は，これらのルートについて説明したものである。Ｐ～Ｒと**カ**～**ク**との正しい組合せを，あとの①～⑥のうちから一つ選べ。 6



（国土地理院発行２万５千分の１地形図「八王子」，原寸，一部改変）

図　４

カ　本格的な登山を味わえるコース。登山道に入るといきなり急な木段が続くが，途中からは展望が開けるところもあり，アップダウンの道を楽しめる。

キ　沢の流れる音を聞きながら，静かに登ることができるコース。大雨の後は沢が増水することもあるので，その場合は別のコースにすることが望ましい。

ク　表参道をたどる見所が多いコース。前半は舗装された急坂を上るが，その区間は交通機関を利用することができるので，最も多くの人に利用されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Q	キ	ク	カ	ク	カ	キ
R	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問7　地形図について述べた次の文章中の空欄(　**サ**　)・(　**シ**　)に該当する語句の正しい組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **7**

地形図は，作成目的による分類では(　**サ**　)に該当する。縮尺で見ると，地形図は日本地図や世界地図より縮尺が(　**シ**　)地図であるといえる。

	①	②	③	④
サ	一般図	一般図	主題図	主題図
シ	大きい	小さい	大きい	小さい

第２問　次の図１を見て，世界の気候環境と衣食住に関する下の問い(**問１～７**)に答えよ。

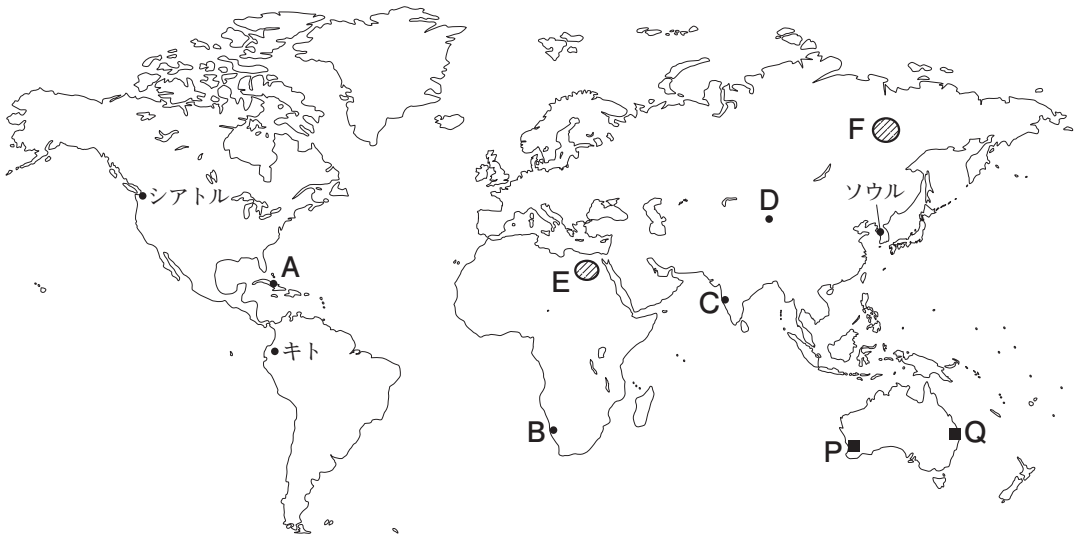


図　1

問１　図１中のA～Dの地点における年降水量とその要因について述べた文として下線部が最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **8**

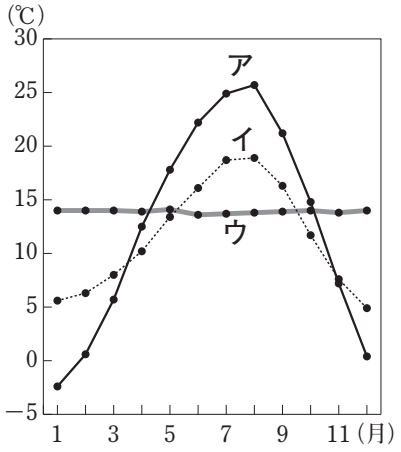
①　Aの地点では，サイクロンとよばれる熱帯低気圧がしばしば襲来するため，年降水量が多い。

②　Bの地点では，沖合を流れる寒流の影響で上昇気流が発生しにくいため，年降水量が少ない。

③　Cの地点では，一年を通して海洋から吹く湿った偏西風が山脈にあたるため，年降水量が多い。

④　Dの地点では，一年を通して亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)の影響下にあるため，年降水量が少ない。

問２　次の図２中の**ア**～**ウ**は，図１中に示したキト，シアトル，ソウルのいずれかの地点における月平均気温を示したものである。都市名と**ア**～**ウ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **9**



（気象庁資料，CLIMATE-DATA.ORG により作成）

図　２

	①	②	③	④	⑤	⑥
キ　ト	**ア**	**ア**	**イ**	**イ**	**ウ**	**ウ**
シアトル	**イ**	**ウ**	**ア**	**ウ**	**ア**	**イ**
ソウル	**ウ**	**イ**	**ウ**	**ア**	**イ**	**ア**

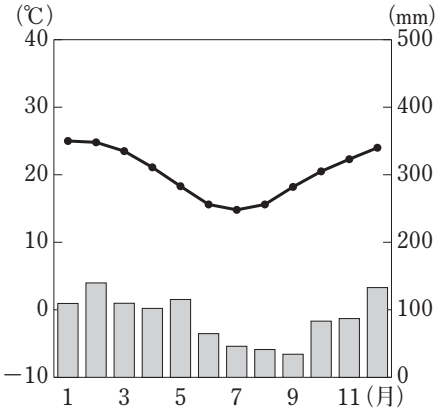
問３　図１中の**Ｅ**・**Ｆ**の地域には，それぞれの地域の気候に対応してつくられた住居がみられる。これらの住居について述べた次の**カ**・**キ**の文中の下線部について，正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

カ　**Ｅ**の地域には，壁を厚く窓を小さくした日干しレンガの住居がみられる。それは，昼夜間の寒暖差に対応したものである。

キ　**Ｆ**の地域には，高床式にしたコンクリート製の集合住宅がみられる。それは，豪雪によって玄関が雪で覆われるのを防ぐためである。

	①	②	③	④
カ	正	正	誤	誤
キ	正	誤	正	誤

問４　次の図３は，図１中のＰ・Ｑのいずれかの地点における月平均気温と月降水量を示したものである。図３に該当する地点と気候区との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 11



（気象庁資料により作成）

図　３

	地点	気候区
①	Ｐ	温暖湿潤気候
②	Ｐ	西岸海洋性気候
③	Ｐ	地中海性気候
④	Ｑ	温暖湿潤気候
⑤	Ｑ	西岸海洋性気候
⑥	Ｑ	地中海性気候

問５　世界各地の土壌について述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 12

①　アマゾン川流域には，酸性で赤色の成帯土壌であるラトソルが分布する。

②　シベリア中部には，酸性で灰白色の成帯土壌であるポドゾルが分布する。

③　ウクライナには，玄武岩が風化した間帯土壌であるチェルノーゼムが分布する。

④　地中海沿岸には，石灰岩が風化した間帯土壌であるテラロッサが分布する。

問６　世界各地の食文化について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 13

① イギリスでは，オリーブ油でタラなどの白身魚とジャガイモを揚げたフィッシュアンドチップスがよく食べられている。

② スペインでは，米，魚介類，野菜などを香辛料と一緒に炊きこんだパエリアとよばれる料理がよく食べられている。

③ トルコでは，香辛料などで味付けした豚肉を串に刺して焼いたケバブとよばれる料理がよく食べられている。

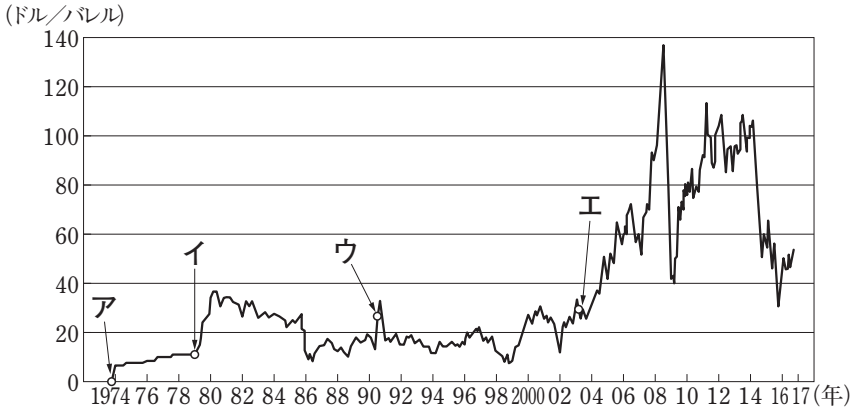
④ メキシコでは，小麦粉を薄焼きにしたチャパティに具を挟んだタコスとよばれる料理がよく食べられている。

問７　地球温暖化について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから，**適当でないもの**を一つ選べ。 14

地球温暖化は，①二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出によって進んでいると考えられており，特に②シベリアなどの高緯度の地域で平均気温の上昇が顕著である。地球温暖化によって氷河の後退が進み，サンゴ礁の島々における海岸侵食が進んでいる。また，永久凍土の融解や，③北欧諸国における森林の枯死，異常気象の増加などの問題もみられる。2015 年に採択された温暖化対策の新しい枠組みであるパリ協定は，④発展途上国に対しても温室効果ガスの削減目標を設けさせるなど，温暖化対策が進められている。

第３問　資源・エネルギーに関する次の問い(問１～７)に答えよ。

問１　次の図１は，原油価格の推移を示したものである。図１中の**ア**～**エ**の時期に起こった，原油価格上昇のきっかけとなった出来事について述べた文として**適当でないもの**を，下の①～④のうちから一つ選べ。 15



(「エネルギー白書 2017」などにより作成)

図　1

① **ア**の時期には，第４次中東戦争が起こった。

② **イ**の時期には，イランで革命が起こった。

③ **ウ**の時期には，アメリカ合衆国で同時多発テロ事件が起こった。

④ **エ**の時期には，アメリカ合衆国などによるイラク攻撃が起こった。

問２　次の表１中の①～④は，アメリカ合衆国，韓国，中国，ロシアのいずれかについて，１人当たり１次エネルギー供給量と１次エネルギー輸出入量を示したものである。ロシアに該当するものを，表１中の①～④のうちから一つ選べ。 16

表　1

	１人当たり１次エネルギー供給量(kg)	１次エネルギー輸出入量(百万トン)	
		輸出量	輸入量
①	6,700	331	596
②	5,074	648	24
③	2,146	73	632
④	5,511	64	311

石油換算。統計年次は 2016 年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2019 年版』により作成)

問３　次の表２は，自然エネルギーによる発電量または発電設備容量上位５か国を示したものであり，表２中の**カ**～**ク**は，太陽光，地熱，風力のいずれかである。発電の種類と**カ**～**ク**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

表　２

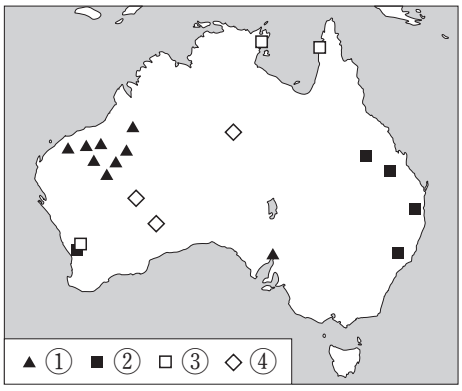
	カ	キ	ク
第１位	アメリカ合衆国	中　国	中　国
第２位	フィリピン	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国
第３位	インドネシア	ドイツ	日　本
第４位	ニュージーランド	インド	ドイツ
第５位	メキシコ	スペイン	イタリア

地熱は発電量，太陽光・風力は発電設備容量。
統計年次は，地熱が 2015 年，その他が 2017 年。

（『世界国勢図会 2018/19 年版』により作成）

	①	②	③	④	⑤	⑥
太陽光	**カ**	**カ**	**キ**	**キ**	**ク**	**ク**
地　熱	**キ**	**ク**	**カ**	**ク**	**カ**	**キ**
風　力	**ク**	**キ**	**ク**	**カ**	**キ**	**カ**

問４　次の図２は，オーストラリアのおもな資源の産地を示したものであり，図２中の①～④は，金，石炭，鉄鉱石，ボーキサイトのいずれかである。また図３は，ブラジルにおけるある資源のおもな産地を示したものであり，ブラジルはオーストラリアに次いで世界第２位の産出量(2015 年)を誇る。図３と同じ資源の産地に該当するものを，図２中の①～④のうちから一つ選べ。 18



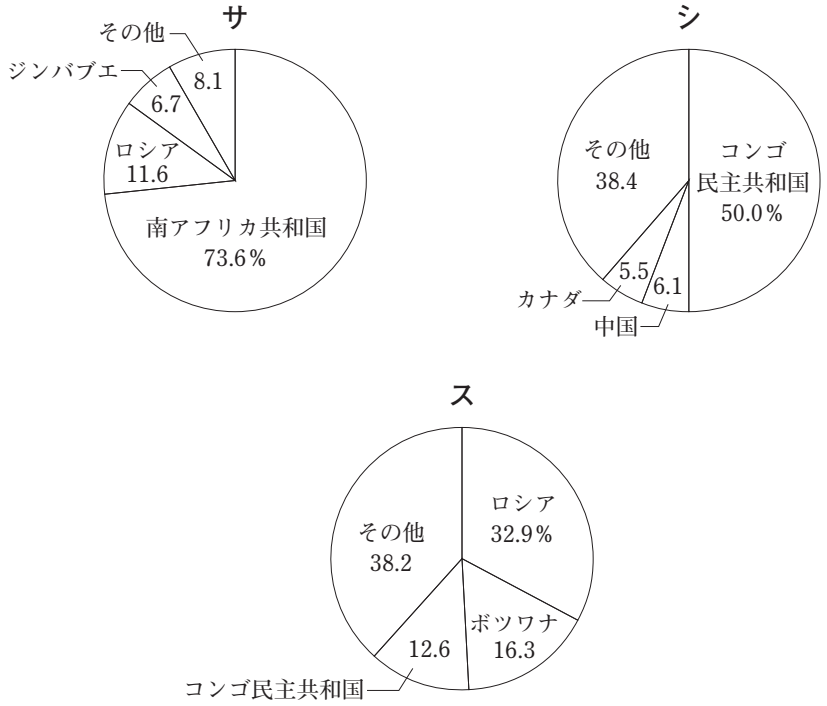
（Diercke Weltatlas 2008 などにより作成）

図　２



図　３

問５　アフリカ諸国のなかには，希少な鉱産資源を産出する国々もみられる。次の図**４**中の**サ**～**ス**は，コバルト鉱，ダイヤモンド，プラチナ(白金)のいずれかの産出量上位３か国とその割合を示したものである。資源名と**サ**～**ス**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **19**



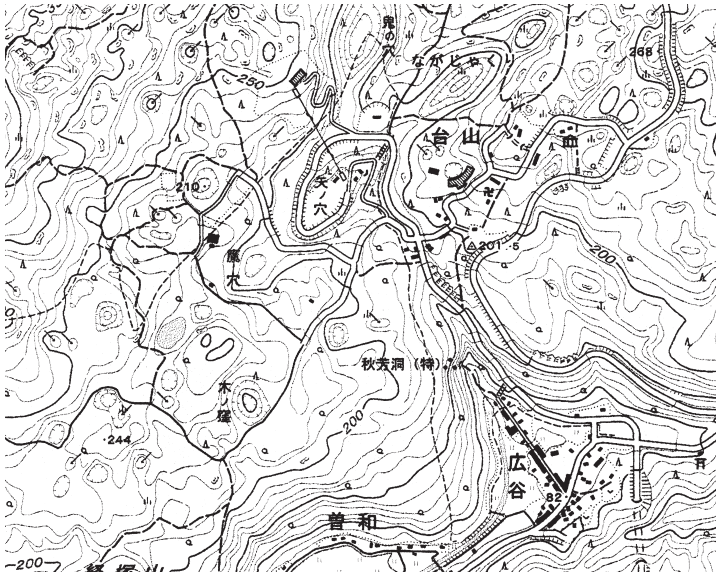
統計年次は 2015 年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2019 年版』により作成)

図　４

	①	②	③	④	⑤	⑥
コバルト鉱	**サ**	**サ**	**シ**	**シ**	**ス**	**ス**
ダイヤモンド	**シ**	**ス**	**サ**	**ス**	**サ**	**シ**
プラチナ	**ス**	**シ**	**ス**	**サ**	**シ**	**サ**

問６　次の図５は，秋吉台周辺の地形図である。この付近では，石灰石の産出が盛んである。これについて述べた下の文章中の下線部①～④のうちから，**適当でないもの**を一つ選べ。 20



（国土地理院発行２万５千分の１地形図「秋吉台」，原寸）

図　５

図５は，①山口県にある秋吉台周辺を示したものである。この地域には，②ドリーネなどのくぼ地が数多くみられる。付近では③日本で自給可能な石灰石の産出が盛んであり，これをおもな原料とした④陶磁器工業が立地している。

問７　資源・エネルギーについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 21

① アメリカ合衆国では，クリーンエネルギーとして注目されている，シェールガスやシェールオイルの生産が急増している。

② ドイツでは，安全性の面から将来的に原子力発電所を廃止することを決めており，自然エネルギーへの転換を推進している。

③ 日本では，貴重な金属類の再利用を進めるため，販売業者による使用済みパソコンや携帯電話の回収が義務づけられている。

④ ロシアでは，北極海の海底に分布するメタンハイドレートを利用して，天然ガスの生産が急増している。

第４問　次の図１を見て，イギリスに関する下の問い(**問１～７**)に答えよ。

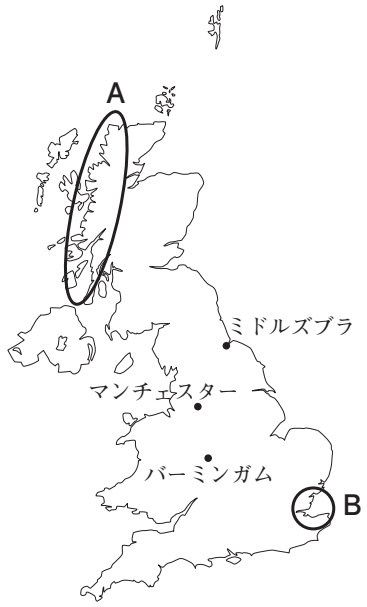


図　１

問１　次の**ア**～**ウ**の文は，図１中に示したバーミンガム，マンチェスター，ミドルズブラのいずれかの工業都市について述べたものである。都市名と**ア**～**ウ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

ア　かつては地元の資源を使用した鉄鋼業が発達したが，1970 年代に開発された油田からパイプラインが通じると，石油化学工業が発達するようになった。

イ　産業革命の発祥地として知られ，綿織物工業が発展したが，近年は重工業化が進み，先端技術産業の集積もみられる。

ウ　付近で産出される鉄鉱石と石炭を背景に，かつては世界的な鉄鋼業都市として発展したが，近年では鉄鋼業は衰退し，先端技術産業の誘致を進めている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
バーミンガム	**ア**	**ア**	**イ**	**イ**	**ウ**	**ウ**
マンチェスター	**イ**	**ウ**	**ア**	**ウ**	**ア**	**イ**
ミドルズブラ	**ウ**	**イ**	**ウ**	**ア**	**イ**	**ア**

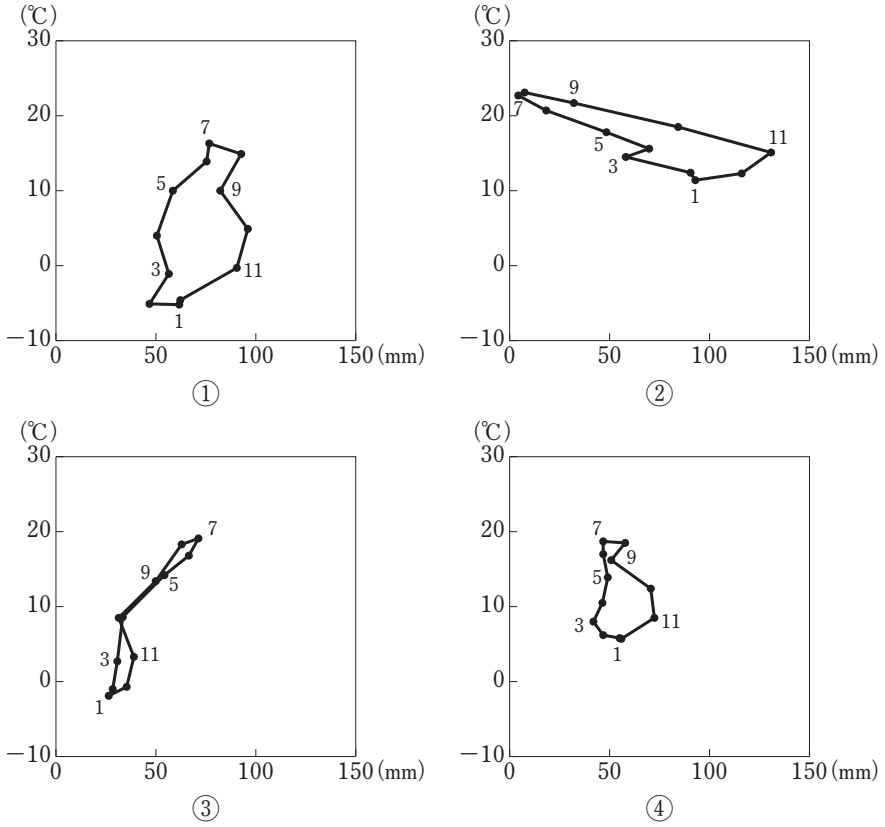
問２　図１中のＡ・Ｂには，特徴的な海岸地形がみられる。それぞれの海岸地形について述べた次のカ・キの文の正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 23

カ　スコットランド沿岸のＡにみられる海岸地形はリアス海岸で，ノルウェー沿岸などにもみられる。

キ　テムズ川河口部のＢにみられる海岸地形はエスチュアリ（三角江）で，ナイル川河口などにもみられる。

	①	②	③	④
カ	正	正	誤	誤
キ	正	誤	正	誤

問３　次の図２中の①～④は，各国の首都である，オスロ，リスボン，ロンドン，ワルシャワのいずれかの月平均気温と月降水量を示したものである。ロンドンに該当するものを，図２中の①～④のうちから一つ選べ。 24



（気象庁資料により作成）

図　２

問４　次の表１中の①～④は，イギリス，スペイン，ドイツ，フランスのいずれかにおける農牧業に関する統計を示したものである。イギリスに該当するものを，表１中の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

表　1

	小麦の生産量（万トン）	肉類の生産量（万トン）	土地面積に占める牧場・牧草地の割合（%）
①	643	620	18.5
②	1,438	392	45.8
③	2,446	843	13.4
④	2,950	566	16.9

統計年次は，土地面積に占める牧場・牧草地の割合が 2015 年，その他が 2016 年。

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2019 年版』により作成）

問５　イギリスは，世界のなかでもかなり早い時期から都市化が進んだ国として知られる。次の**サ**～**ス**の文は，ロンドンとその周辺地域で行われた都市計画について述べたものである。**サ**～**ス**を時代の古いものから順に並べたものとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **26**

サ　都市の過密問題の解消や無秩序な市街地拡大を防止するため，大ロンドン計画が行われた。

シ　市街地の生活環境の悪化を改善するため，郊外にレッチワースなどの職住近接の田園都市が建設された。

ス　産業の空洞化が進んだ港湾地区を再生するため，ウォーターフロント開発が行われた。

① **サ→シ→ス**　② **サ→ス→シ**　③ **シ→サ→ス**
④ **シ→ス→サ**　⑤ **ス→サ→シ**　⑥ **ス→シ→サ**

問６　ヨーロッパでは，共通通貨ユーロの流通や，シェンゲン協定に基づく人々の自由な移動が実現されている国が多いが，国によってその状況は異なる。イギリスの状況(2019 年 4 月現在)について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 27

① 国の通貨としてユーロが流通しており，EU 各国との自由な移動も実現されている。

② 国の通貨としてユーロが流通しているが，EU 各国との自由な移動は実現されていない。

③ 国の通貨としてのユーロは流通していないが，EU 各国との自由な移動は実現されている。

④ 国の通貨としてのユーロは流通しておらず，EU 各国との自由な移動も実現されていない。

問７　イギリスでは，外国からの人口流入が急速に進んでおり，これが EU 離脱を決めることになった要因の一つといわれる。次の表２は，イギリス，ドイツ，フランスへの外国人流入人口におけるおもな出身国を示したものである。表２にみられる各国の特徴を考察したうえで，表２中のＸ～Ｚに該当する国の正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 28

表　２

イギリス	
X	56,000
中　国	43,000
ポーランド	40,000
インド	36,000
イタリア	26,000
合　計	479,000

ドイツ	
Y	309,700
X	221,400
ポーランド	190,800
ブルガリア	86,300
アフガニスタン	84,900
合　計	2,016,200

フランス	
Z	22,400
モロッコ	18,400
イタリア	13,200
スペイン	12,400
ポルトガル	11,600
合　計	252,600

単位は人。ただし概数。
統計年次は 2015 年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2019 年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	アルジェリア	アルジェリア	シリア	シリア	ルーマニア	ルーマニア
Y	シリア	ルーマニア	アルジェリア	ルーマニア	アルジェリア	シリア
Z	ルーマニア	シリア	ルーマニア	アルジェリア	シリア	アルジェリア

第５問　次の図１を見て，東南アジアに関する下の問い(**問１～７**)に答えよ。

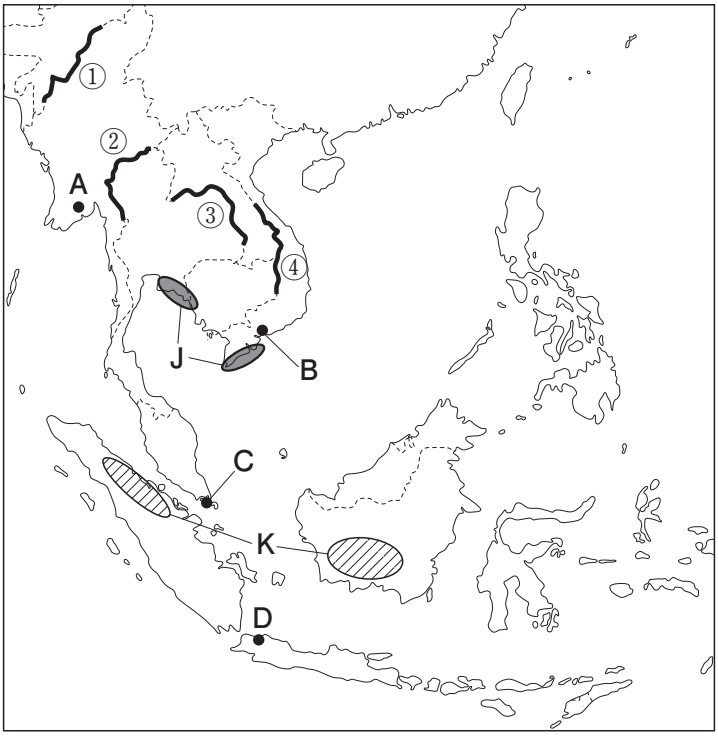
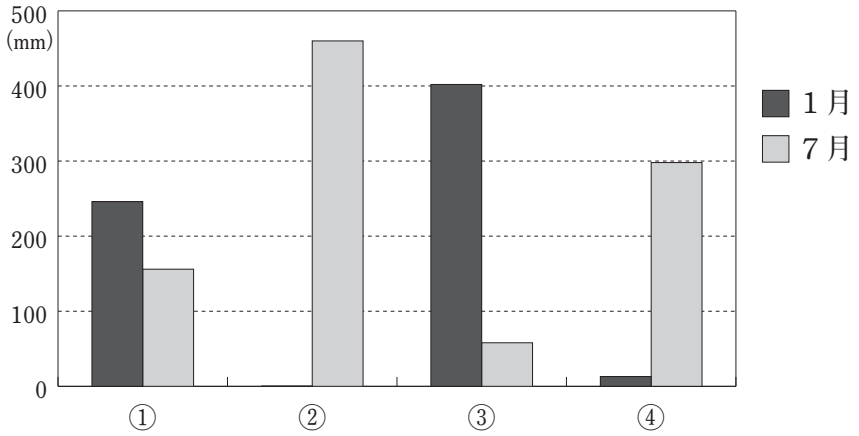


図　1

問１　図１中の①～④のうちから，メコン川が国境となっている部分として最も適当なものを一つ選べ。 29

問２　次の図２中の①～④は，図１中のＡ～Ｄのいずれかの都市における１月と７月の月降水量を示したものである。Ｄに該当するものを，図２中の①～④のうちから一つ選べ。 30



(気象庁資料，CLIMATE-DATA.ORG により作成)

図　2

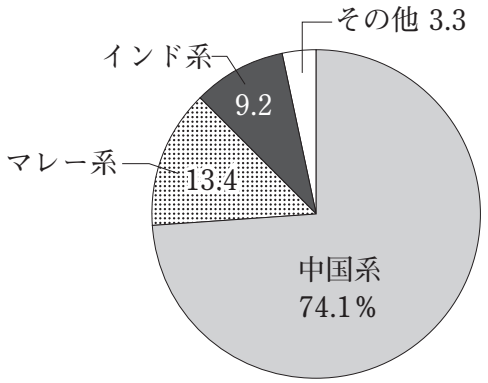
問３　東南アジアでは，開発に伴う環境破壊が進んでいる地域がみられる。次の**ア**・**イ**の文は，図１中のＪ・Ｋの地域にみられる環境破壊について述べたものである。**ア**・**イ**の文中の下線部について，正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **31**

ア　Ｊの地域では，おもにエビの養殖池の造成のため，海岸地域に分布しているマングローブ林が失われている。

イ　Ｋの地域では，おもにバイオエタノールの原料として利用される油やしのプランテーション開発が進んでおり，熱帯雨林が急速に減少している。

	①	②	③	④
ア	正	正	誤	誤
イ	正	誤	正	誤

問４　次の図３は，東南アジアのある国における民族比率を示したものである。この国で行われている政策として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **32**



統計年次は 2010 年。

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2019 年版』により作成）

図　３

①　４つの公用語を認めており，なかでも英語の語学力を教育上重視している。

②　４つの公用語を認めており，なかでも中国語の語学力を教育上重視している。

③　中国系住民を政治的に優遇しており，仏教を国教に定めている。

④　地元の先住系民族を政治的に優遇しており，イスラーム（イスラム教）を国教に定めている。

問５　東南アジアの多くの国々は，かつて欧米諸国による植民地支配を受けていたため，現在でも文化や産業において旧宗主国のさまざまな影響がみられる。これについて述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

①　インドネシアでは，オランダ統治時代に築かれた貿易会社の建物が残る。

②　タイでは，イギリスによる植民地時代に天然ゴムの大農園が開発された。

③　フィリピンでは，スペインによってキリスト教の信仰がもたらされた。

④　ベトナムでは，フランスパンに具を挟んだサンドイッチの屋台がみられる。

問６　次の表１は，東南アジアの３か国の輸出額上位５品目を示したものであり，表１中のP～Rは，タイ，ベトナム，マレーシアのいずれかである。国名とP～Rとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 34

表　1

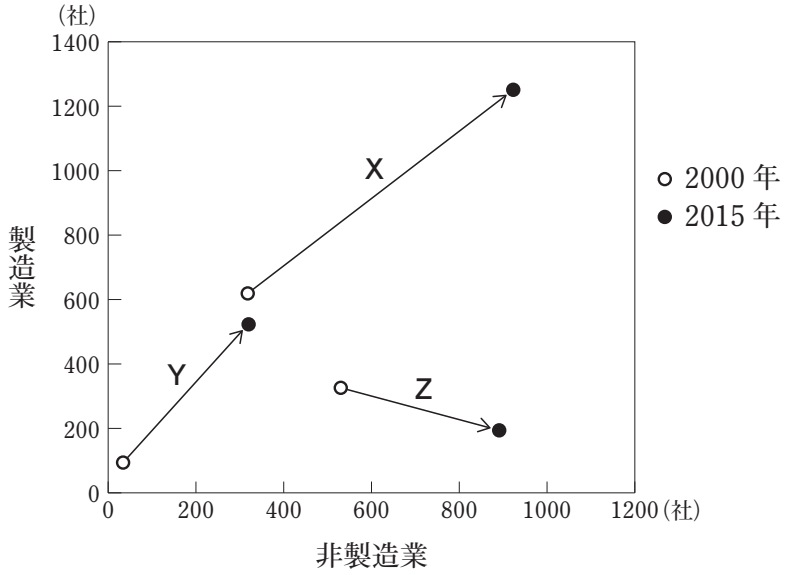
	P	Q	R
第１位	機械類	機械類	機械類
第２位	自動車	衣　類	石油製品
第３位	プラスチック	履　物	パーム油
第４位	金(非貨幣用)	魚介類	液化天然ガス
第５位	金属製品	繊維と織物	精密機械

統計年次は，マレーシアが 2017 年，その他が 2016 年。

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2019 年版』により作成）

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ　イ	P	P	Q	Q	R	R
ベトナム	Q	R	P	R	P	Q
マレーシア	R	Q	R	P	Q	P

問７　東南アジア諸国には日本企業が多く進出しているが，その進出先には変化がみられる。次の図４は，日本から東南アジア３か国への製造業および非製造業の進出企業数(現地法人企業数)を 2000 年と 2015 年について示したものであり，図４中のＸ～Ｚは，シンガポール，タイ，ベトナムのいずれかである。国名とＸ～Ｚとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **35**



非製造業には，卸売業，小売業，運輸業，情報通信業，建設業，サービス業などが含まれる。

(経済産業省「海外事業活動基本調査　第 46 回調査結果」などにより作成)

図　４

	①	②	③	④	⑤	⑥
シンガポール	X	X	Y	Y	Z	Z
タ　イ	Y	Z	X	Z	X	Y
ベトナム	Z	Y	Z	X	Y	X

(地理の問題は終わり)